

P000.

30 ミリメートル

発表タイトル

○早稲田 太郎¹、姓 名²、□□ □□^{1,2}

1 早稲田大学先進理工学部化学・生命化学科 (〒169-8555 東京都新宿区大久保 3-4-1)

2 □□研究所 (〒000-0000□□県□□市□□町 0-0-0)

緒言

要旨は A4 サイズ 1 ページ、余白は上 30 ミリ、下 25 ミリ、左右 20 ミリ。左上隅余白部分に講演番号が入る。講演番号は 20 ポイント、タイトルは 16 ポイント、氏名・所属は 12 ポイントで、Sans serif 体 (Arial 等) やゴシック体とする。本文は 11 ポイント、英数字は Times 系、日本語は明朝体を推奨する。見出しや図表内では Sans serif 体やゴシック体を用いることができる。

結果と考察

結果は以下であり、このような現象であると考察される。
なお数式の入力に関しては、特に制限は設けない。すなわち、数式ツールの利用

$$\chi = \frac{1}{\sqrt{\pi}} \left(\frac{Z}{a_0} \right)^{\frac{3}{2}} e^{-\rho}$$

Microsoft 数式 3.0 の利用

$$\chi = \frac{1}{\sqrt{\pi}} \left(\frac{Z}{a_0} \right)^{\frac{3}{2}} e^{-\rho}$$

その他の数式エディタの利用

$$\chi = \frac{1}{\sqrt{\pi}} \left(\frac{Z}{a_0} \right)^{\frac{3}{2}} e^{-\rho}$$

などが可能である。

なお PDF 形式で要旨を提出される場合は、編集の関係上「セキュリティなし (編集可能)」と設定することをお願いする。また可能であれば PDF/X-1a に準拠することが望ましい。

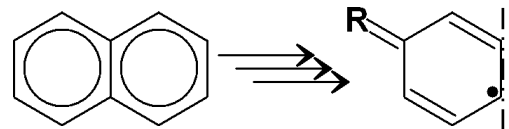


Figure 1 Reaction scheme of the false chemical reaction.

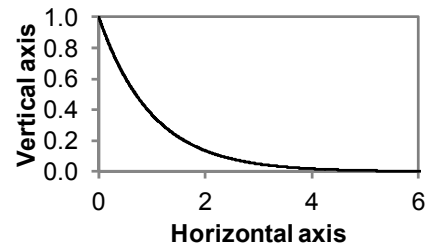


Figure 2 An example of exponential decay curve.

20 ミリメートル

20 ミリ

25 ミリメートル